

G5 古気候・古環境解析

Zoom 企画プログラム(2020/10/20版 ver.01)

コンビーナ(Zoom 企画当日の座長も担当):

浅原良浩(名大)、丸岡照幸(筑波大)、堀川恵司(富山大)、窪田 薫(神戸大)、原田尚美(JAMSTEC)

企画内容

① 口頭発表(発表12分+質疑応答3分)

各自のアップロード発表資料の内容を口頭で発表します。アップロード発表資料に含まれていないデータなどを加えて議論することもできます。

② レクチャー「古環境学の基礎から最先端」(講演30分、質疑応答含む)

古環境学の研究者3名を講師に招き、基礎的な内容から最先端の研究について、主に学生向けにわかりやすく講義します。古環境学分野以外の方々の来聴も歓迎します。

③ 学生主体懇談会

学生の交流の場を設けます。参加者は古気候・古環境の分野に限定しません。日常の研究生活、研究と就職、海外での研究生活、など、いろいろな話題について他大学の学生と話をする場を提供します。

<2020年11月20日(金) 午前>

9時10分~11時30分 @C会場

開始時刻	発表者	発表タイトル	発表番号	発表形式
09:10	コンビーナ	セッション趣旨説明		
09:15	宇佐見 直也 (名古屋大学)	Sr, Nd 同位体比と微量元素組成を指標とした西部北太平洋亜寒帯の沈降粒子中の陸源碎屑物の供給源解析	PR0053	口頭発表*1
09:30	梶田 展人 (東京大学)	青森県鷹架沼におけるアルケノン古水温復元の試み	PR0193	口頭発表*1
09:45	酒井 恵祐 (神戸大学)	北海道, 苫小牧沖における最終退氷期以降の底生有孔虫群集と溶存酸素極小層(OMZ)の変動	PR0195	口頭発表*1
10:00	長島 佳菜 (JAMSTEC)	完新世のアリューシャン低気圧変動およびアジア上空偏西風ジェットとの関係	PR0184	口頭発表
10:15		休憩		
10:30	窪田 薫 (神戸大学)	炭酸塩ホウ素同位体分析を通じて二酸化炭素を追跡する		レクチャー
11:00	原田 尚美 (JAMSTEC)	海洋酸性化の生物影響を測る		レクチャー

*1 学生の発表です。

<2020年11月20日(金) 午後>

14時~16時30分 @C会場

開始時刻	発表者	発表タイトル	発表番号	発表形式
14:00	野田 昌裕 (富山大学)	アムンゼン湾沖鮮新世堆積物の Fe-Mn 水酸化物 Pb 同位体比変動は西南極氷床の大規模融解の証拠になるか?	PR0194	口頭発表* ¹
14:15	石野 咲子 (東京工業大学)	東南極における大気硫酸の硫黄安定同位体組成の均一性と氷期-間氷期の硫黄起源のシフトに対する示唆	PR0116	口頭発表
14:30	古地 武 (東京大学)	蒸発岩を用いたメッシニアン塩分危機における地中海の硫黄同位体比復元	PR0153	口頭発表* ¹
14:45	丸岡 照幸 (筑波大学)	白亜紀末隕石衝突に伴って何が起きたのか: 親銅元素組成をもとにした環境復元	PR0032	口頭発表
15:00		休憩		
15:15	植村 立 (名古屋大)	プロキシとしての水の酸素水素同位体比の基礎と展望		レクチャー
15:45 -16:30		学生主体の懇談会(司会 梶田展人)		

*¹ 学生の発表です。

アップロード資料での発表

発表者	発表タイトル	発表番号	発表形式
奈良 郁子 (金沢大学)	小川原湖堆積物の微量元素分布から推定される後期完新世における海水準変動	PR0093	スライド資料
植村 立 (名古屋大学)	最終氷期 GI-21 における南大東島の鍾乳石の酸素同位体比変動	PR0094	スライド資料
藤崎 涉 (東京大学)	高確度窒素・炭素同位体比測定に向けた前処理法の検討: 堆積岩標準試料を用いた再評価	PR0151	スライド資料

本年会の発表のメインは、年会ウェブサイトへアップロードした資料(静止画 PDF または動画 MP4)についてテキストで質疑応答する形式です。期間は 11/12(木)~26(木)です。ZOOM 口頭発表の有無に関わらず、アップロード資料での議論は必須です。活発なご議論をお願いいたします。